

平成 18 年 12 月 26 日

各 位

会 社 名 株式会社クスリのアオキ
代表者名 代表取締役社長 青木保外志
(コード番号：3398 東証二部)
問合せ先 取締役経理部長 垣内伸彦
(TEL. 076-274-1111)

平成 19 年 5 月期中間期及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 18 年 7 月 4 日付当社「平成 18 年 5 月期決算短信（非連結）」にて発表いたしました、平成 19 年 5 月期（平成 18 年 5 月 21 日から平成 19 年 5 月 20 日まで）の中間期及び通期の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 中間期（平成 18 年 5 月 21 日～平成 18 年 11 月 20 日）の業績予想の修正

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回予想 (A)	18,654	617	308
今回予想 (B)	18,798	839	441
増減額 (B-A)	144	222	133
増減率	0.8%	36.1%	43.1%

2. 修正理由（中間期）

当社は、平成 17 年 5 月期より店舗改装を軸とした既存店活性化に取り組んでおり、それに加えて当期より、商品面における MD（マーチャンダイジング※1）強化を実施するため、営業企画部という専門部署を設置いたしました。これらの取り組みが功を奏して、既存店売上高が予定どおり好調に推移し、更に仕入割戻し金の増加等による売上原価の改善も寄与して、売上総利益は前回予想を上回る見込であります。

また、販売費及び一般管理費については、お客様が買いやすい売場作りを目指した改装や商品面における MD 強化により、効率的な販売促進を実施したこと等が寄与して、前回予想を下回る見込であります。

以上により、経常利益は 839 百万円と前回予想を 222 百万円上回り、中間純利益も 441 百万円と前回予想を 133 百万円上回る見込であります。

3. 通期（平成 18 年 5 月 21 日～平成 19 年 5 月 20 日）の業績予想の修正

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想（A）	38,398	1,200	644
今回予想（B）	38,442	1,331	723
増減額（B-A）	43	131	78
増減率	0.1%	10.9%	12.3%

4. 修正理由（通期）

下半期については、上半期同様に既存店活性化の取組みが引き続き功を奏し、売上高が好調に推移することが予想される反面、当社にとって新規出店地域である新潟県においては、ドミナント構築までの期間、売上や収益面で厳しい環境が続くことが見込まれます。新潟県には平成 17 年 11 月に第一号店（藤巻店）、平成 18 年 5 月に第二号店（高田東店）をともに上越市内にオープンし、当期は柏崎中央店、三条北店、北城店と 3 店舗出店しております。

現時点におきましては、上半期の上方修正の影響により、通期では売上高 38,442 百万円と前回予想を 43 百万円、経常利益 1,331 百万円と前回予想を 131 百万円、当期純利益 723 百万円と前回予想を 78 百万円、それぞれ上回る見込であります。

5. 通期（平成 18 年 5 月 21 日～平成 19 年 5 月 20 日）の連結業績予想の修正等

当社は、平成 18 年 9 月 19 日付で開示しましたとおり、平成 18 年 10 月 13 日付で連結子会社（株式会社青木二階堂）を設立しており、通期においては連結決算を行うため、下記のとおり連結業績予想を発表いたします。なお、当該連結子会社（株式会社青木二階堂）は、当社の店舗の内、薬種商販売業（※2）の許可を受けている店舗の販売業を行う会社であり、当社連結業績に与える影響は軽微であります。

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
通期	38,442	1,350	733

（参考） 1 株当たり予想当期純利益（通期） 94 円 57 銭

※1 MD（マーチャンダイジング）

店頭における商品の品揃え、価格、販売方法等を決定する商品政策全般のことです。

※2 薬種商販売業

薬事法第 25 条に規定される医薬品販売業の一つであり、一定の要件を充足する者に対して、厚生労働大臣の指定する医薬品以外の医薬品を販売することができる許可を店舗毎に与えられるものであります。

以上